

経営比較分析表（令和4年度決算）

秋田県大館市 扇田病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	5	-	ド訓	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
68,083	9,305	第2種該当	-	10:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
62	42	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	104
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
41	40	81

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会を実現するため、扇田病院は次の役割を担います。

- ①入院の回復期医療及び慢性期医療の提供
- ②人間ドック、企業健診などの健診事業の展開
- ③在宅療養支援病院として、訪問診療や訪問看護などの在宅医療の提供
- ④地域に根差した特色ある医療の提供

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率や②医業収支比率、⑦職員給与費対医業収益比率は、新型コロナウイルスの院内クラスター発生による入院制限等により医業収益が減少したため、前年と比べて数値が悪化しました。
⑥外来患者1人1日当たり収益は、高齢患者の割合が高く検査件数が伸びないため、横ばい傾向です。
全体的には費用に見合う収益を確保できていないため、経常収支の赤字が継続しており、③累積欠損金比率がさらに増加しました。
赤字解消のため、病床利用率向上による診療収入の増加と、経費削減が不可欠です。

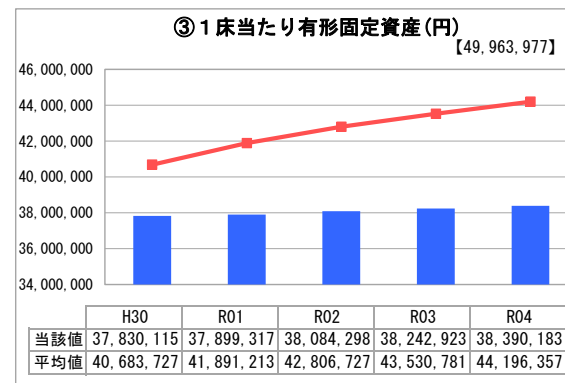
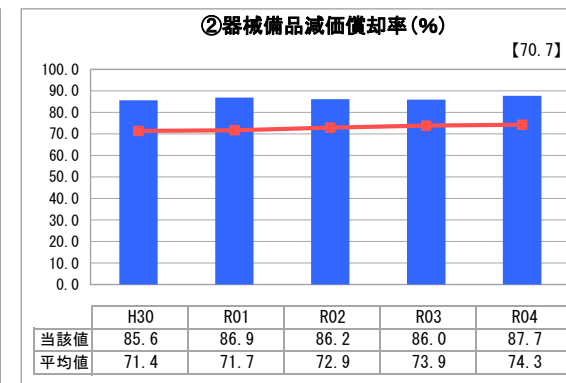
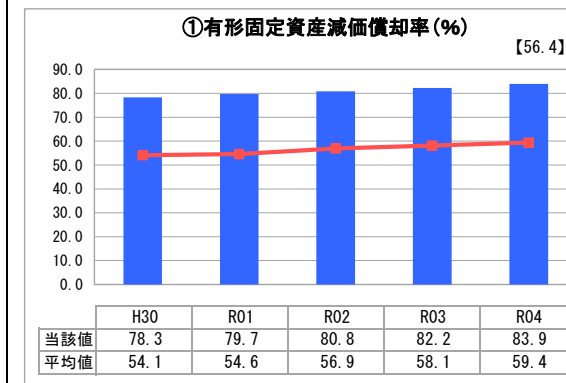
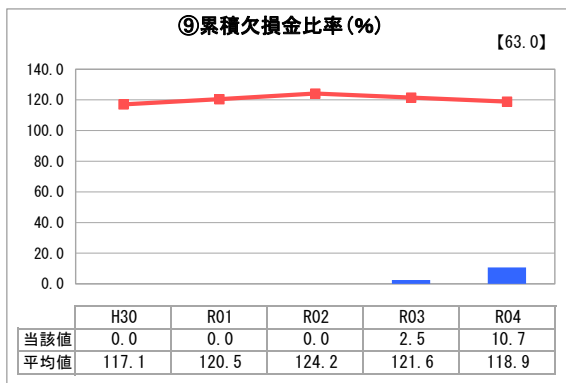
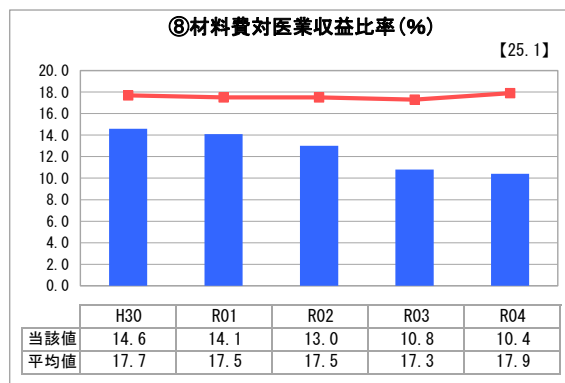
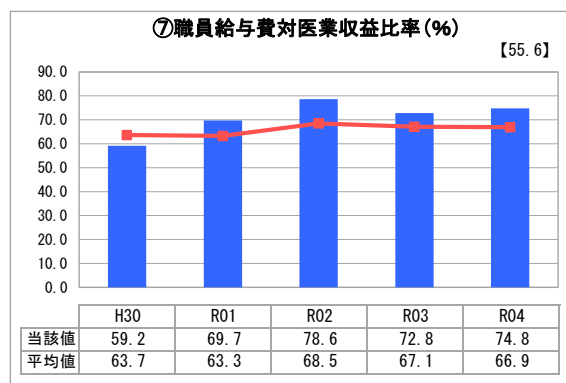
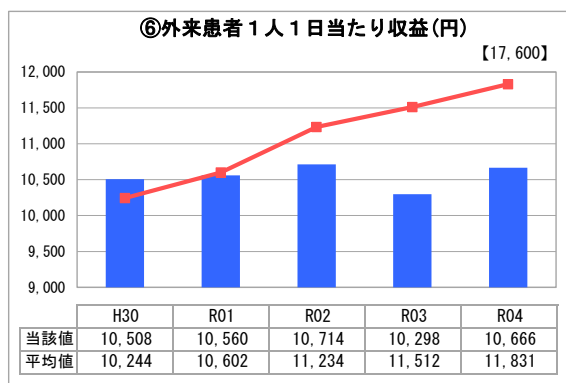
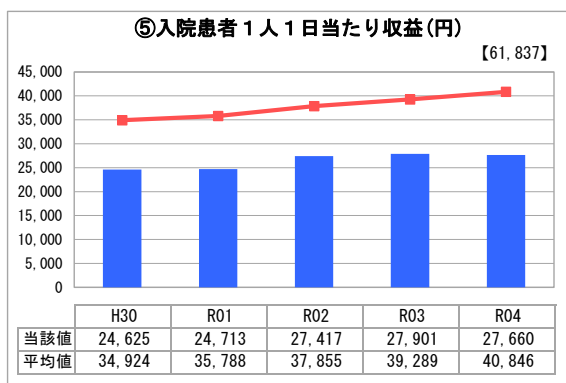
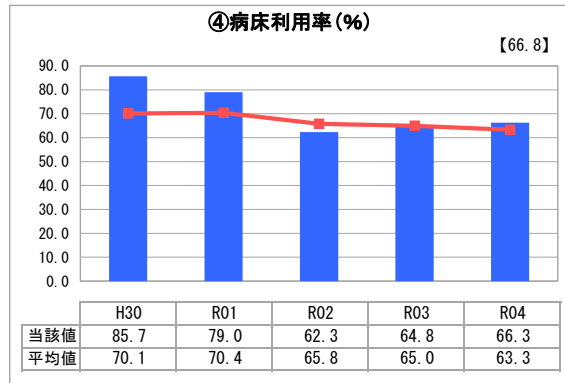
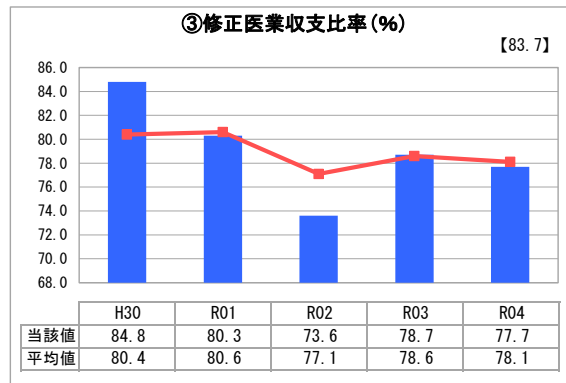
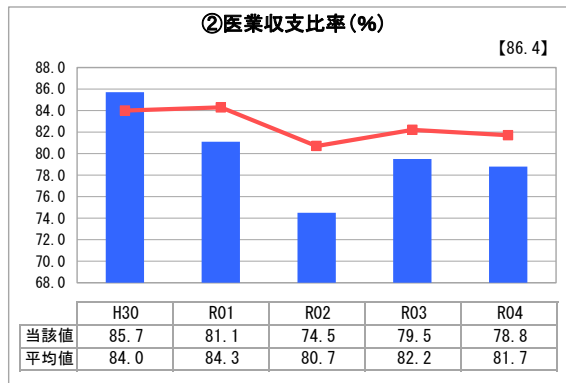
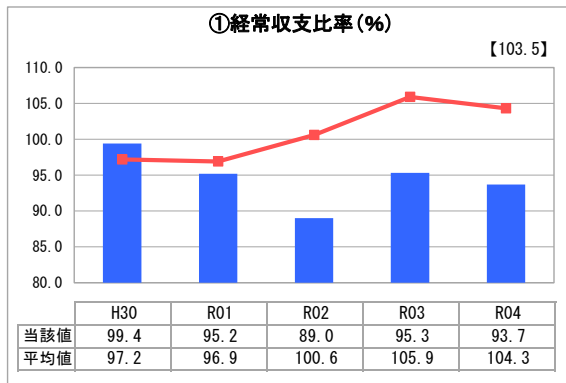
2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、平均値を上回る状態が続いています。病院建物は使用開始から30年以上経過し、特に建物内部の給排水設備の経年劣化が進んでいます。また、②機械備品減価償却率では、機器等を毎年度更新しているものの、新規購入を極力控えているため、平均値より高くなっています。
③1床当たり有形固定資産でも、経常収支の赤字により医療機器等整備を抑制しているため、近年は平均値を大きく下回っています。

全体総括

4年度は、新型コロナウイルス感染症の院内クラスター発生による入院収益の減少と、職員給与費対医業収益比率の増加により、経常収支比率が悪化するともに、累積欠損金比率も上昇しました。今後は、次のとおり取り組みます。
収入では、包括ケア病床と療養病床の病床利用率の向上と、訪問診療、訪問看護の充実により収益の増額を図ります。
費用では、職員の適正な配置による人件費の削減に努めます。
今後も、地域の在宅療養支援病院として、訪問診療、訪問看護の充実を図るとともに、入院の包括ケア病床、療養病床を維持し、地域に必要な医療の提供に努めていきます。

1. 経営の健全性・効率性



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。